

【演題名】ジクアホソル点眼液はマイボーム腺機能不全を伴うドライアイの涙液油層を増加させる

【ショートタイトル】ジクアホソル点眼液と涙液油層

【英文タイトル】

Effect of diquafosol ophthalmic solution on in tear film lipid layer in dry eye with MGD

福岡詩麻 1,3,4、有田玲子 2,3,4

1. 大宮はまだ眼科, 2.伊藤医院, 3. LIME 研究会、4.東京大

【目的】ジクアホソル点眼液(DQS)は、涙液の水分やムチンを増加させるドライアイ(DE)治療薬であり、マイボーム腺機能不全(MGD)患者のマイボーム腺形態改善(Arita ら, 2013)、正常眼の涙液油層厚増加(Fukuoka ら, 2017)が報告されている。今回、MGD 合併 DE 眼の涙液油層に対し DQS が与える影響を検討した。

【方法】対象は MGD 合併 DE, 47 例 94 眼(男 33 例, 女 14 例, 48.1±13.0 歳)。片眼に DQS, 僚眼に人工涙液(AT)を 1 回点眼し, 点眼 30, 60, 90 分後に涙液油層厚(LLT), 非侵襲的涙液層破壊時間(NIBUT), 涙液メニスカス高(TMH), 涙液光干渉像を観察, 点眼前と比較した。

【結果】DQS 群では LLT は点眼前(49.4±16.2 nm)に比べ, 30, 60 分後に有意に増加し(30, 60, 90 分後, 70.6±28.2, 63.9±30.0, 62.0±26.2 nm, $p<0.001$, 0.042, 0.11), NIBUT は点眼前(3.0±1.8 秒)と比べ, 30~90 分後まで有意に延長したが(6.1±2.9, 6.6±2.7, 6.1±2.8 秒, $p<0.001$, <0.001 , <0.001), TMH は変化しなかった($p=0.853$, 1.00, 1.00)。AT 群では LLT, NIBUT, TMH は変化しなかった。点眼前に涙液光干渉像で干渉縞を認めなかった眼(蒸発亢進型 DE)では, AT 群(36 眼中 5, 5, 2 眼)より DQS 群(40 眼中 25, 32, 23 眼)で有意に多く改善した($p<0.001$, <0.001 , <0.001)。

【結論】MGD 合併 DE で, DQS は 30, 60 分後に LLT を増加させ, 90 分後でも涙液安定性が著明に改善していた。DQS は水分, ムチン増加と共に涙液油層改善にも有効だった。

【利益相反公表基準：該当】福岡詩麻 有 (【F IV】参天製薬)、有田玲子 有 (【F IV】参天製薬、Tear Science®, 【P】、【C II】興和)